

★解答はすべて日本語文で書くこと。特に漢字表記は正字体（繁体字）または日本の当用漢字の字体のみを認め、簡体字は減点する。

一 次の図版は『文選』所収の陸機の詩の本文とその注（李善注）である。

(a) 本文と注をすべて書き下し文にし、(b) 本文の内容を日本語で解釈せよ。

為顧彦先贈婦二首 五言集云為全彦先作今云顧彦先誤也且此

陸士衡 上篇贈婦下篇答而俱云贈婦又誤也

辭家遠行遊悠悠三千里 鸚鵡賦曰女辭家而適人蔡琰詩曰悠悠三千里何時復來

會京洛多風塵素衣化為緇 毛萇詩傳曰緇黑也

脩身悼憂苦感念同懷子 孟子曰古之人不得志脩身則憂苦

歡滯不起 薛君韓詩章句曰時風又且暴歡沈難尅興使己思益隆毛詩曰亂我心曲

心亂誰為理願假歸鴻翼飛浙江汜 魏文帝喜霽賦曰思寄身於鴻鸞舉六翮而輕飛毛詩曰江有汜

二 次の図版は南宋の洪邁『夷堅志』の明刻本である。図版中の文章を現代日本語で解釈せよ。

玉環書經

章濤從外祖鄭亨仲資政入蜀過京西道間入一僧寺舍宇極蕪陋其傍有一堂奉觀音龕像左右列華嚴經數函多散亂不全整龕下有軸抽簪試啓之得小軸乃朱書金剛經也卷軸差不甚損然已故暗字畫勁楷可觀展視其末則云玉環刺血為皇帝書蓋楊太真遺跡血色儼然非朱書也鄭之子取而寶藏之

三 次の六つの事柄、書籍、人物についてそれぞれ説明せよ(①～⑥すべてを解答せよ)。

- ① 諸橋轍次
- ② 藝文類聚
- ③ 羅貫中
- ④ 破読
- ⑤ 古逸叢書
- ⑥ 錯簡